

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月13日

【評価実施概要】

事業所番号	0770102465		
法人名	株式会社コスモメディカルサポート		
事業所名	グループホーム愛の里		
所在地	福島県福島市大森字街道下5-2 (電話)024-544-0188		
評価機関名	福島県社会福祉協議会		
所在地	福島県福島市渡利七社宮111		
訪問調査日	H20.11.26	評価確定日	H20.12.25

【情報提供票より】(20年11月4日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成18年3月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13人, 非常勤 2人, 常勤換算	13.19人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,100 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要(11月4日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	8名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 87歳	最低	77歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人朋友会 しのぶ病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設3年目を迎えるとは思えないほど、スタッフと利用者の関係が良好である。共有空間の使いにくさなど環境的には難しい面もあるが、それを改善しようとする意欲がある。半年を掛けて全利用者の認知症介護研究・研修東京センター方式による記録を作成し、それに基づく介護計画の作成も順次実施しているなど、職員一丸でケアの質の向上に取り組んでいる。また学習療法を取り入れるなど、新しい取り組みにもホーム全体でチャレンジしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回は評価における改善課題として介護計画と具体的なケアについて様式や仕組みづくりを求められていたが、介護計画と一人ずつの記録様式を工夫し、毎日誰が何をしたのかわかる形に改善されていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回は、職員全体的話し合いで作成したが今回は、各フロアリーダーが記入し、管理者が確認する形で行われた。そのため、職員全体で振り返る機会としては不十分だったと思われるが、昨年の評価をふまえ、この間取り組んできた姿勢は評価できる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5)
	運営推進会議は、2ヶ月に一度定期的に、地域の方や地域包括支援センター職員等が出席して開催しているが、内容がやや報告に偏っており、実際に問題を感じていること(例えば非常時の避難の際、職員のみでは難しいかもしれない等)に関して、意見を出し合うような形にはなっていない。会議メンバーと協力してさらに具体的な課題を共有し検討して欲しい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	来所時などの機会を捉えて、家族とよく話し合っており、その際に意見や苦情を聞くと共に、家族報告会を年2回設け、意見集約を図っている。また、出された意見に関しては、スタッフ間にて検討し、早期の対応をしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣で開催される行事への参加や、日常的な大家さんの支援を始め、区長からも情報提供による交流がある。また、食材や日用品も近隣の店から配達してもらうなどの交流もある。地域の保育園児や児童生徒も訪ねてきたりしている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設時に職員と一緒に作り上げた理念を持ち、玄関はじめスタッフルームにも掲示し、常に意識しながら仕事に当たっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	その人らしい生活を実現しようと管理者はじめ職員全員が取り組んでいる事が、聞き取りにおいても確認できた。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で開催される芸能祭や生演奏を見に行ったり、地区のお祭りに参加したりしている。また、近くの保育園児との交流も行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を受け、認知症介護研究・研修東京センター方式によるアセスメントや介護計画及び介護記録様式の変更に取り組んでいたが、職員全員で評価の意義を共通理解した上で職員全員で改善に取り組んでいない。		自己評価の記入に際して、各階リーダーが記入し管理者が確認したとのことであるが、自己評価は職員全体で、現在の振り返りをしたり、さらには取り組んでいきたいことを確認する機会として捉え、職員全体で評価結果を共通認識し改善に取り組んで欲しい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、定期的な開催及び記録が行われている。また会議開催時に次回の日程調整を行い、多くの方が参加ができるよう配慮されていた。しかし会議の内容は事業所側の報告事項が多い。</p>		<p>報告や行事に参加要請するだけでなく、具体的な課題を投げかけ、共に検討するなど、双方向のやりとりができる会議内容を目指して欲しい。</p>
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族が来所した際や、健康上に変化があった際など、その都度こまめに連絡を取って報告したり相談している。また、愛の里便りを毎月発行し郵送しており、その中に職員の異動や事業所全体のお知らせをしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年に2回開催している家族報告会の際に、話を聞いたり、また面会の際に話しやすいように声かけしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>顔なじみの関係を大切にし極力異動がないようにしているが、結婚出産、病気等で退職する場合もあり、それに伴ってユニット間での異動もあった。利用者には繰り返し事情を説明するなど、影響が最小限になるよう努力している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の機会を捉え、管理者は各職員の適性にも配慮しながら、参加を促している。参加に際しては参加費補助や勤務扱いとしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会の実践報告会に参加している。また、相互研修として他のグループホーム職員を受け入れたり、派遣したりしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	学習療法時に、昔の行事や生活に関して教えてもらう場面が多い。また自信を持つことで、自発性が少なかった利用者が、嫌だとはっきり意思表示したりする場面が増えている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	こまめに声がけし、利用者の意向を確認したり、引き出す姿勢が見られる。また自分の意志をうまく言語化できない利用者に対しては、表情や仕草を観察し、対応している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全体で認知症介護研究・研修東京センター方式に取り組み、そこで得たものを中心にした介護計画の作成に取り組んでいる。またその記録に関しても日々の実践が見えるよう記録の録り方を工夫している。介護計画の目標が職員の立場で目標が設定されている。		利用者の視点で課題を出し合い、利用者にとっての目標を介護計画に記載してほしい。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入院や退院の際には新しく介護計画を作成したり、3ヶ月毎にモニタリングを確実にを行い、家族等と話し合った上で見直しの要否を判断している。		
3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には入居以前のかかりつけ医へ継続して受診しているため、受診の際には家族の付き添いをお願いしている。その際に文書や口頭で情報をやりとりしたり、通院が難しい身体状況の場合は相談して往診医へ紹介した利用者もいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する方針は文書で家族へ示し説明も行っている。今後該当する方が出た際には、随時相談しながら同意書を作成する予定。重度化に関しては、介護計画にて方針を共有しながら対応する。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの言葉掛けは丁寧で、考慮されている。記録に関しては鍵付きの保管庫に入れ、また誰のものかはすぐにはわからないようになっている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の起床時間に遅れる方がいてもその方のペースを大切にしている。また、レクリエーションにも参加してもしなくても、その方の選択を大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	会話しながら食事する方もいれば、会話をしない方など利用者のペースに合わせて食事支援をしている。食後の食器の片付けや茶碗拭きを交代で実施している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせて、週に1～4回の入浴のしている。遅番の職員が8時まで対応するため、希望者には夜間入浴にも対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	農家出身の利用者の方が中心になって畑仕事をして野菜を作ったり、女性の方が交代で食事の用意や後片付けを手伝ったり、また、掲示物の文章を書いたりなど、各自が役割を持っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	外出時の利用者の希望をふまえ、外出を少人数で行うようにしている。また、メニューを決めてから毎日のように食材の買い出しに出かけたりしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入り口の施錠はしていないことから、日中の無断外出による事故例があった。現在は、外出してもわかるように一番内側の戸にチャイムの取り付けを準備中とのことであった。		ホーム前の道路は交通量も多いことから、交通事故のリスクも高い。チャイムを取り付けたとしても、安心せずに十分注意して鍵をかけないケアに取り組んで欲しい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	半年に1回の避難訓練の他にも、2階から1階へ階段を下りての避難訓練を実施している。また、運営推進会議において地域住民の参加要請はしているが、実際に何かあった際の職員の不安は大きいという。		近隣の方にどんな部分を担って欲しいかを考えて運営推進会議に提案したり、現在の備品で非常時を想定した手順を考えたりするなど、日常的にできることを考え、取り組んでほしい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べた量や水分摂取量は、個人の記録の中に記録してある。また個人のその日の調子に合わせて食事介助したり、刻みにしたり、食器を入れ替えたりするなどして声かけを行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は嫌な音や臭いはなく、日常生活の写真や皆で作成した季節の飾りを掲示するなど、暖かな雰囲気である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所で準備してあるベッドやチェストの位置は各居室毎に利用者の好きな場所に配置されている。また仏壇を持ってこられた方や、飾り物をたくさんおかれる方など、それぞれに個性的な居室となっている。		

 は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム 愛の里

記入担当者名 高木 真由美

評価結果に対する事業所の意見
特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。